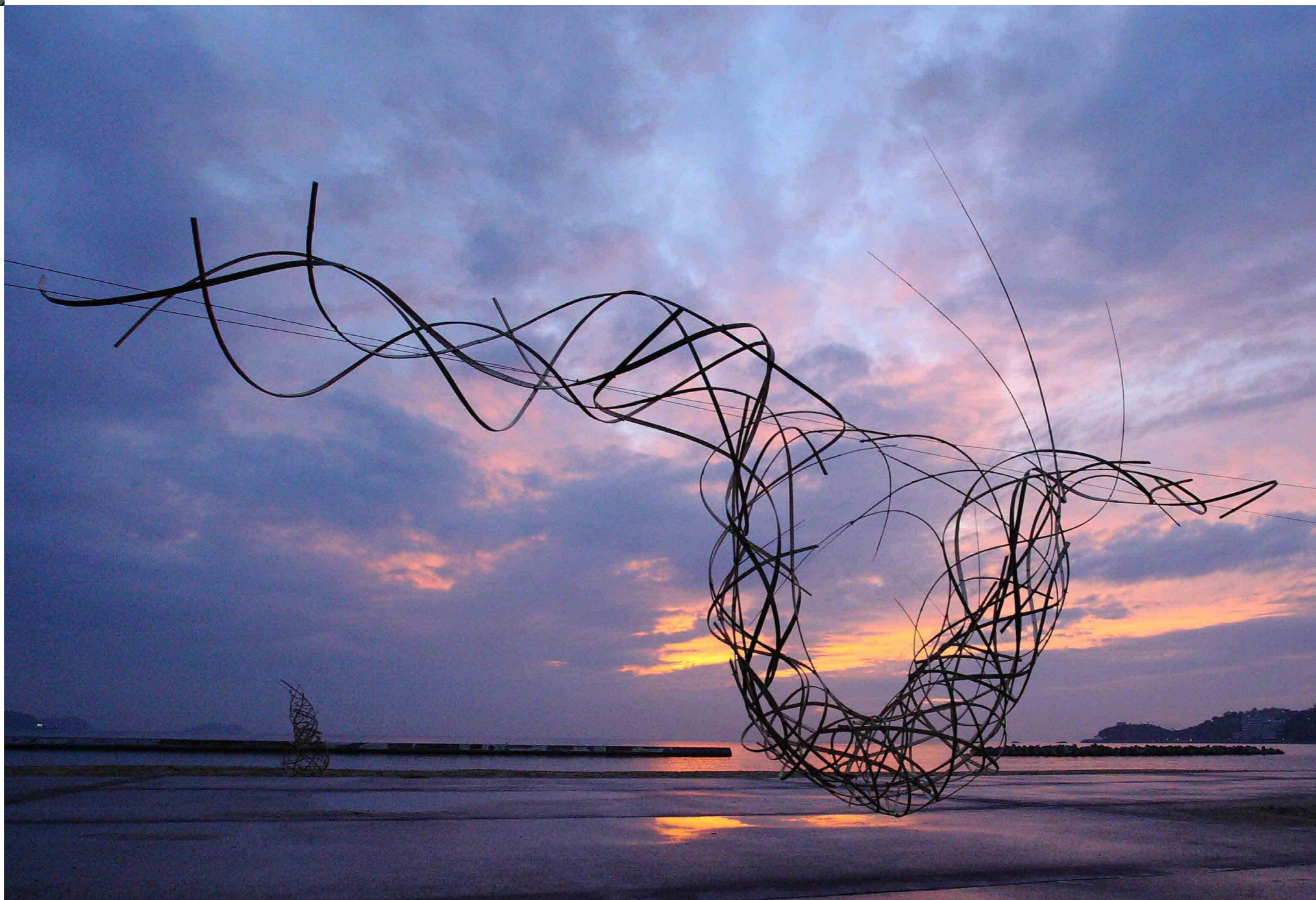




久美浜の龍
天と地をつなぐ

三橋玄 竹アート



2022年2月13日（日）—3月13日（日）

時間 9:00 から 16:00 （水曜日定休日）

展示会場 豪商稲葉本家中庭 2/23（水）は開館
翌 24（木）は閉館

■2月13日（日）PM2:00 オープニングイベント

■2月8日（火）-12日 公開制作

滝を遡った鯉は、龍になり、天に昇るという。

地から天に昇るエネルギー

その無形の、目に見えない流れに人が与えたひとつの形が龍なのだと思ふ。

天と地の間を駆け巡るその流れは、

水となり、雲となり、瞬き、刻々と姿を変える。

木も、動物も、地形も、あらゆるものは己の性質とともに、この駆け巡るエネルギーを反映して、ここにある。

私が作りたいもの。

それは刻々と移ろいながら

強く、儚く、巡る「いのちのかたち」。

そのかたちを現すのに、私にとって竹がぴったりだった。

真っ直ぐに伸びる竹の中にあるしなやかさ。

竹を切り、割って手で曲げるとき、しなやかな流れがかたちになる。

私はその線を組み合わせるかたちを作る。

私が作るかたちは、私が作っているのではない。

元来、竹の中にあったものを取り出すだけ。

竹は、古来から天と地を結ぶものとされてきた。

かぐや姫は天から降りて竹の中に宿り、

羽衣を隠した男は竹を登って天界に天女を訪ねた。

春には一日に1m以上も伸びる爆発的な成長力と、

中の空っぽがそんな想像を生んだのだろうか？

丹後の久美浜湾には、一遍上人の祈りによって龍が立ち昇ったと伝えられている。

天橋立をはじめ、丹後にはさまざまな天と地を結ぶ場所がある。

甲山の上から久美浜を眺めたとき、それはきっと穏やかな龍であった様に思えた。

天と地をつなぐ場所で

天と地を結ぶ植物で

天に昇る静かな龍を作ろう。

お問い合わせ 0772-74-1009（ヒカリ美術館）

（三橋 玄）